

1. 阿弥陀如来の本願

正しょう信しん念ねん仏ぶつ偈げ

リン 二打 ● ●

導師だうし 歸き命みょう無む量りょう寿じゆ如に来よらい

南な無も不ふ可か思し議ぎ光こう

法ほう蔵ぞう菩ぼ薩さつ因いん位に時じ

在ざい世せ自じ在ざい王おう仏ぶつ所しょ

觀くわん見けん諸しよ仏ぶつ淨じやう土ど因いん

國こく土ど人にん天てん之し善ぜん惡まく

建こん立り無む上じやう殊しゆ勝しやう願がん

超ちやう発ほつ希け有う大だい弘ぐ誓ぜい

五ご劫こう思し惟ゆい之し撰しやう受じゆ

重じゆう誓せい名み声しやう聞もん十じつ方ぽう

2. 釈迦如来の出世本懐

普ふ放ほう無む量りょう無む辺へん光こう

無む碍げ無む对たい光こう炎えん王おう

清しやう淨じやう歡かん喜ぎ智ち慧え光こう

不ふ断だん難なん思し無む称しょう光こう

超ちやう日にち月がつ光こう照しやう塵じん刹せつ

一いっ切さい群ぐん生じやう蒙む光こう照しやう

本ほん願がん名み号ごう正じやう定じやう業ごう

至し心しん信しん樂ぎやう願がん為に因いん

成じやう等とう覺がく証しやう大だい涅ね槃はん

必ひつ至し滅めつ度ど願がん成じやう就じゆ

如に来よらい所しよ以い興こう出しゆつ世せ

唯ゆい說せつ弥み陀だ本ほん願がん海かい

五ご濁じよく惡あく時じ群ぐん生じやう海かい

釈迦如来

忘おう信しん如に来よらい如に實じつ言ごん

能のう發ほつ一いち念ねん喜き愛あい心しん

不ふ断だん煩ぼん惱のう得とく涅ね槃はん

凡ぼん聖じやう逆ぎやく謗ほう齊さい回え入にゅう

如に衆しゆ水しい入にゅう海かい一いち味み

撰せつ取しゆ心しん光こう常じやう照しやう護ご

已い能のう雖すい破は無む明みやう闇あん

貪とん愛ない瞋しん憎ぞう之し雲うん霧む

常じやう覆ふ真しん實じつ信しん心じん天てん

譬ひ如に日にっ光こう覆ふ雲うん霧む

雲うん霧む之し下げ明みやう無む闇あん

獲ぎやく信しん見けん敬きやう大だい慶きやう喜き

即そく横おう超ちやう截ぜつ五ご惡あく趣しゆ



せいいてん ねんじゆ もんとしきしやう  
聖典・念珠・門徒式章を  
一人ひとりもちましよう



おねがい

『正信念仏偈』は浄土  
真宗の尊い教えです。  
床に置いたり、捨てたり  
など、決して粗末に扱わ  
ないで下さい。

● 日々のお参りにお読  
み下さい。

● 持ち帰らない人は、  
受付にお返し下さい。

都城市山田町山田三八八七

〇九八六一六四一〇七八

浄土真宗本願寺派 正定寺

正定寺門徒会

釈迦如来

3.七高僧の伝統

一切善悪凡夫人  
 聞信如来弘誓願  
 仏言広大勝解者  
 是人名分陀利華  
 彌陀仏本願念仏  
 邪見憍慢悪衆生  
 信樂受持甚以難  
 難中之難無過斯  
 印度西天之論家  
 中夏日域之高僧  
 顕大聖興世正意  
 明如来本誓忘機  
 釈迦如来楞伽山

第一祖

為衆告命南天竺  
 龍樹大士出於世  
 悉能摧破有無見  
 宣説大乘無上法  
 証歡喜地生安樂  
 顕示難行陸路苦  
 信樂易行水道楽  
 憶念彌陀仏本願  
 自然即時入必定  
 唯能常称如来号  
 応報大悲弘誓恩  
 天親菩薩造論説  
 帰命無碍光如来

第三祖

依修多羅顕真実  
 光闡横超大誓願  
 広由本願力回向  
 為度群生彰一心  
 帰入功德大宝海  
 必獲入大会衆数  
 得至蓮華蔵世界  
 即証真如法性身  
 遊煩惱林現神通  
 入生死園示応化  
 本師曇鸞梁天子  
 常向鸞処菩薩礼  
 三蔵流支授浄教

正信念仏偈の大意

『正信念仏偈』は、  
 四つの文章で構成され  
 ています。

① 阿彌陀如来は一切の  
 衆生を極楽浄土に生ま  
 れさせ、永遠のいのち  
 をあたえてすぐう本願  
 をおこし、すくいの道  
 が成就したあかしの、  
 「なもあみだぶつ」の  
 名号に成られた。

② お釈迦さまは、生涯  
 のお説法の中で「阿彌  
 陀如来の本願念仏のす  
 くい」を仏法の最後の  
 かなめとされた。

③ お釈迦さま入滅後、  
 インド・中国・日本の  
 七高僧の功績によつて  
 「阿彌陀如来の本願念  
 仏のすくい」の道」が受  
 けつがれた。

④ 親鸞聖人は、阿彌陀  
 如来の本願を聞信し、  
 「なもあみだぶつ」と  
 日々お念仏もうす人生  
 をおすすすめ下さった。

第四祖

正定之因唯信心  
 往還回向由他力  
 報土因果顯誓願  
 天親菩薩論註解  
 焚燒仙經歸樂邦  
 唯明淨土可通入  
 萬善自力貶勤修  
 諸有衆生皆普化  
 必至無量光明土  
 証知生死即涅槃  
 道綽決聖道難証  
 円満徳号勸専称

第五祖

善導独明仏正意  
 至安養界証妙果  
 一生造惡値弘誓  
 像末法滅同悲引  
 三不三信誨慇懃  
 善導獨明佛正意  
 至安養界証妙果  
 一生造惡値弘誓  
 像末法滅同悲引  
 三不三信誨慇懃  
 光明名号顯因縁  
 開入本願大智海  
 行者正受金剛心  
 慶喜一念相應後  
 与韋提等獲三忍  
 即証法性之常樂  
 源信広開一代教

第七祖

極重惡人唯称仏  
 我亦在彼攝取中  
 煩惱障眼雖不見  
 大悲無倦常照我  
 本師源空明仏教  
 憐愍善惡凡夫人  
 眞宗教証興片州  
 選拔本願弘惡世  
 還來生死輪転家  
 決以疑情為所止  
 偏帰安養勸一切  
 專雜執心判淺深  
 報化二土正弁立  
 極重惡人唯称仏  
 我亦在彼攝取中  
 煩惱障眼雖不見  
 大悲無倦常照我  
 本師源空明仏教  
 憐愍善惡凡夫人  
 眞宗教証興片州  
 選拔本願弘惡世  
 還來生死輪転家  
 決以疑情為所止

正信念仏偈で親鸞聖人がたたえられるお念仏の信心の系譜

救主 南無阿弥陀仏 (阿弥陀如来)

教主 釈迦如来

第一祖 龍樹菩薩

第二祖 天親菩薩

第三祖 曇鸞大師

第四祖 道綽禪師

第五祖 善導大師

第六祖 源信和尚

第七祖 源空上人

宗祖 親鸞聖人

正定寺門徒会

4.親鸞聖人のおすすめ

速入寂靜無為樂  
 必以信心為能入  
 弘經大士宗師等  
 拯濟無辺極濁惡  
 道俗時衆共同心  
 唯可信斯高僧說

ねんぶつ  
 念仏  
 リン 一打 ●

導師  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏

一同  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏  
 南無阿彌陀仏

リン 一打 ●

和讃

①  
 導師 阿彌陀仏の御名をきき  
 一同 歡喜讚仰せしむれば  
 功德の宝を具足して  
 一念大利無上なり

②  
 導師 たとひ大千世界に  
 一同 みてらん火をもすぎゆきて  
 仏の御名をきくひとは  
 ながく不退にかなふなり

（こ）より導師の読経（一同はしずかに）

回向

導師 願以此功德  
 一同 平等施一切  
 同發菩提心  
 往生安樂國

リン 三打 ●●●

① 「なもあみだぶつ」の名号は、「あなたを極楽浄土に生まれさせ、必ず救う」という阿彌陀仏の誓いの言葉である。この名を聞くと喜びがあふれ安らぎにつつまれる。名号は無限の功德に満ちている。ただ一声のお念仏にも無上の利益がある。

② たとえ全世界が火の海になっても、阿彌陀仏の名は、どのような妨げも超えて聞こえてくる。生死の壁さえ超えて響く「あなたを救う」という名は阿彌陀仏の誓願だからである。み仏の名を聞く人はもう迷いに沈まない。浄土に生まれ仏になる。

五百年の伝統

『正信念仏偈』は浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の著述です。「南無阿彌陀仏のお念仏のすくい」を正信する讃歌です。一四七三年、本願寺第八代蓮如上人は、本願寺の正式なおつとめとして『正信念仏偈』を門徒といっしょにお参りするよう定め、出版を許可されました。以来五百四十余年、わたしたち浄土真宗の門徒は先祖代々、日々のお参りに、『正信念仏偈』をおつとめしております。



正定寺門徒は、通夜・葬儀・法事・お寺参りに『正定寺門徒手帳』をもつてお参り下さい。

正定寺門徒会